



# 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 ユアサ・フナシヨク株式会社

コード番号 8006 URL <http://www.yuasa-funashoku.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 諸澤 隆芳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 黒坂 幸夫

TEL 047-433-1212

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	51,857	1.8	849	7.3	982	△4.9	655	1.9
27年3月期第2四半期	50,950	△5.6	791	△14.0	1,032	△3.2	643	△10.3

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 658百万円 (△45.3%) 27年3月期第2四半期 1,204百万円 (54.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	14.57	—
27年3月期第2四半期	14.30	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	50,143	27,260	53.6	597.60
27年3月期	49,555	27,053	53.8	593.33

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 26,871百万円 27年3月期 26,680百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	10.00	10.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年 3月期の連結業績予想(平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	107,000	5.0	1,900	20.2	2,100	11.0	1,300	10.4	28.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	48,977,231 株	27年3月期	48,977,231 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	4,011,274 株	27年3月期	4,010,023 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	44,966,435 株	27年3月期2Q	44,974,511 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
4. 補足情報 .....	10
(1) 販売の状況 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の日本経済は、政府の経済・金融政策の効果から企業収益が改善するなど、景気は緩やかな回復が続きました。

食品流通業界におきましては、円安基調に伴う輸入原材料価格の上昇から商品価格の改定が行われるなか、企業間競争は一段と厳しい状況が続きました。

ビジネスホテル業界におきましては、訪日外国人の増加に伴う宿泊需要や国内の観光需要に支えられ引き続き順調に推移しました。

このような状況のなかで、当社グループは引き続き、地域に密着した営業を展開するとともに、商事部門では物流の効率化、ホテル部門では客室のリニューアルなどを行ってまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は518億57百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益は8億49百万円（前年同期比7.3%増）、経常利益は9億82百万円（前年同期比4.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億55百万円（前年同期比1.9%増）となりました。

#### 事業別セグメントの概況

##### ① 商事部門

商事部門におきましては、消費者の節約志向が継続するなか、健康志向に合わせた商品、高品質など高付加価値商品に伸長もみられましたが、消費全体の拡大にはつながりませんでした。

食品では、価格改定による販売競争が継続するなか、加工食品、酒類、冷凍・チルド商品、菓子がいずれも増収となりました。業務用商品では、食品原料の小麦粉、油脂の販売数量が増加し、また、業務用食材も引き続き増収となりましたが、非食品部門の燃料、工業薬品の減収により前年同期並みとなりました。飼料畜産では、飼料は養鶏生産者向けに販売数量が増加しましたが、飼料価格の低下により減収となり、また、畜産は豚流行性下痢の影響は落ち着きが見られ、成豚集荷頭数は前年同期並みに回復したものの正肉の販売数量が減少し減収となりました。米穀では、精米、玄米とも販売数量は増加しましたが、米価格の低下により減収となりました。

その結果、商事部門の売上高は494億80百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益は5億54百万円（前年同期比1.3%増）となりました。

##### ② ホテル部門

ホテル部門におきましては、訪日外国人客による宿泊需要が増加するなか、競合ホテルの進出などありましたが、国内の団体客、観光利用客の取り込みなどに加え、一般利用客も順調に推移しました。

その結果、ホテル部門の売上高は20億15百万円（前年同期比6.7%増）、営業利益は3億68百万円（前年同期比23.9%増）となりました。

##### ③ 不動産部門

不動産部門におきましては、賃貸料収入として売上高は3億62百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益は2億94百万円（前年同期比6.5%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ5億88百万円増加し501億43百万円となりました。主な内容は流動資産の増加で、その主な要因は現金及び預金の増加5億53百万円などによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ3億81百万円増加し228億83百万円となりました。主な内容は流動負債の増加で、その主な要因は支払手形及び買掛金の増加3億86百万円などによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2億7百万円増加し272億60百万円となりました。主な内容は、利益剰余金の増加2億5百万円などによるものです。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは13億80百万円（前年同期比1億3百万円減）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益10億25百万円、仕入債務の増減額3億86百万円、法人税等の支払額△2億16百万円などによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは△2億62百万円（前年同期比65百万円減）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出△3億41百万円などによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは△5億59百万円（前年同期比1億13百万円増）となりました。これは主に短期借入金の純増減額△1億4百万円、配当金の支払額△4億49百万円などによるものです。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物四半期末残高は前連結会計年度末から5億58百万円増加し59億円（前年同期比5億90百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年5月14日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項（4）、連結会計基準第44－5項（4）及び事業分離等会計基準第57－4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,462	6,016
受取手形及び売掛金	12,121	12,149
商品及び製品	1,439	1,510
仕掛品	32	29
原材料及び貯蔵品	474	246
繰延税金資産	71	87
未収入金	3,005	3,090
その他	71	96
貸倒引当金	△63	△52
流動資産合計	22,615	23,173
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,430	13,681
減価償却累計額	△9,146	△9,313
建物及び構築物 (純額)	4,283	4,368
機械装置及び運搬具	1,895	1,862
減価償却累計額	△1,624	△1,591
機械装置及び運搬具 (純額)	271	270
土地	10,557	10,536
その他	1,589	1,728
減価償却累計額	△1,132	△1,137
その他 (純額)	456	591
有形固定資産合計	15,569	15,767
無形固定資産		
ソフトウェア	116	99
その他	131	126
無形固定資産合計	247	226
投資その他の資産		
投資有価証券	8,137	8,121
長期貸付金	371	358
繰延税金資産	29	22
差入保証金	2,515	2,416
その他	386	306
貸倒引当金	△317	△249
投資その他の資産合計	11,123	10,976
固定資産合計	26,939	26,969
資産合計	49,555	50,143

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,701	15,087
短期借入金	3,720	3,607
未払法人税等	214	342
賞与引当金	81	80
ポイント引当金	13	17
その他	1,634	1,453
流動負債合計	20,366	20,588
固定負債		
社債	—	40
長期借入金	216	254
繰延税金負債	524	536
退職給付に係る負債	532	528
役員退職慰労引当金	19	7
長期未払金	171	168
厚生年金基金解散損失引当金	28	28
その他	641	730
固定負債合計	2,135	2,294
負債合計	22,502	22,883
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,599	5,599
資本剰余金	5,576	5,576
利益剰余金	14,175	14,381
自己株式	△865	△865
株主資本合計	24,486	24,691
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,158	2,146
退職給付に係る調整累計額	35	33
その他の包括利益累計額合計	2,194	2,180
非支配株主持分	372	388
純資産合計	27,053	27,260
負債純資産合計	49,555	50,143

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	50,950	51,857
売上原価	45,601	46,232
売上総利益	5,349	5,625
販売費及び一般管理費	4,558	4,775
営業利益	791	849
営業外収益		
受取利息	10	12
受取配当金	108	108
持分法による投資利益	71	—
その他	77	39
営業外収益合計	267	160
営業外費用		
支払利息	21	18
その他	4	9
営業外費用合計	26	27
経常利益	1,032	982
特別利益		
投資有価証券売却益	—	4
固定資産売却益	—	43
特別利益合計	—	48
特別損失		
固定資産処分損	24	3
減損損失	51	1
特別損失合計	75	5
税金等調整前四半期純利益	956	1,025
法人税、住民税及び事業税	375	351
法人税等調整額	△60	4
法人税等合計	315	356
四半期純利益	640	669
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	14
親会社株主に帰属する四半期純利益	643	655



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	640	669
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	564	△8
退職給付に係る調整額	△1	△2
その他の包括利益合計	563	△10
四半期包括利益	1,204	658
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,206	641
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	17

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	956	1,025
減価償却費	271	278
減損損失	51	1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	0	△1
持分法による投資損益 (△は益)	△69	6
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△0	△7
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△0	△12
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6	△79
受取利息及び受取配当金	△118	△120
支払利息	21	18
有形固定資産除売却損益 (△は益)	5	△40
売上債権の増減額 (△は増加)	1,124	△9
たな卸資産の増減額 (△は増加)	474	161
その他の資産の増減額 (△は増加)	154	64
仕入債務の増減額 (△は減少)	△866	386
その他の負債の増減額 (△は減少)	△45	△65
その他	57	△107
小計	2,009	1,496
利息及び配当金の受取額	120	119
利息の支払額	△19	△18
法人税等の支払額	△625	△216
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,484	1,380
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△65	△341
有形固定資産の売却による収入	4	63
投資有価証券の取得による支出	△102	△5
投資有価証券の売却による収入	0	10
貸付金の回収による収入	12	12
その他	△47	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△197	△262
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	40	△104
長期借入れによる収入	300	200
長期借入金の返済による支出	△512	△170
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△404	△449
その他	△95	△34
財務活動によるキャッシュ・フロー	△672	△559
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	617	558
現金及び現金同等物の期首残高	4,692	5,342
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,310	5,900

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	商事部門	ホテル部門	不動産部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	48,709	1,888	352	50,950	—	50,950
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	16	0	26	42	△42	—
計	48,725	1,888	378	50,993	△42	50,950
セグメント利益	547	297	315	1,159	△368	791

(注) 1. セグメント利益の調整額△368百万円には、のれん償却額△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△371百万円、その他7百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・人事・経理・情報システム部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	商事部門	ホテル部門	不動産部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	49,480	2,015	362	51,857	—	51,857
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	19	0	26	46	△46	—
計	49,499	2,015	388	51,903	△46	51,857
セグメント利益	554	368	294	1,217	△368	849

(注) 1. セグメント利益の調整額△368百万円には、のれん償却額△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△370百万円、その他6百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・人事・経理・情報システム部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

4. 補足情報

(1) 販売の状況

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)	前年同期比
食品（酒類・飲料含む）	31,293	32,435	103.7
業務用商品	7,269	7,279	100.1
米穀	3,806	3,548	93.2
飼料・畜産	6,339	6,216	98.1
商事部門計	48,709	49,480	101.6
ホテル部門	1,888	2,015	106.7
不動産部門	352	362	102.7
合計	50,950	51,857	101.8